

# 排血について



ある農家さんに牛は排血をするけれど、人間の生理のようなものはないのかと聞かれ、気になったので調べてみました。牛は発情後2～3日に外陰部の出血が見られますが、少量の出血のみで人間と同じではないことは想像ができます。では牛の出血はなぜ起こるのでしょうか。牛の排血と人間の生理のしくみについてそれぞれ調べてみました。

☆まず牛の排血はなぜ発生するのか・・・

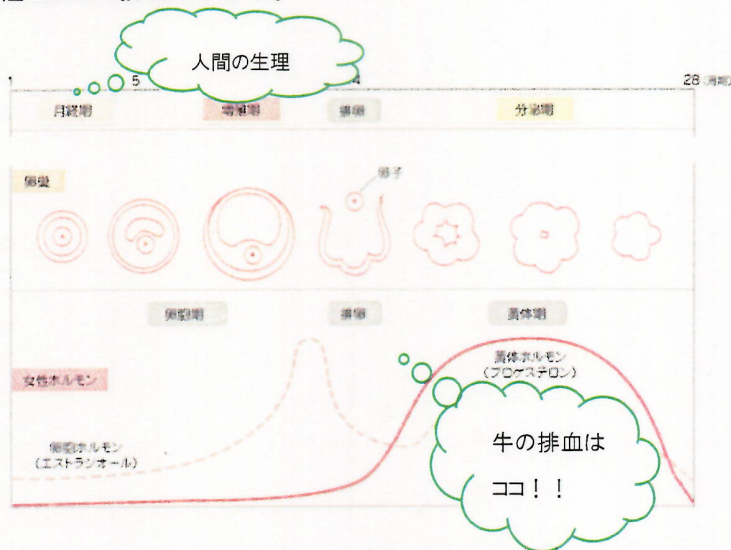
牛の排血は排卵後に見られる現象で、発情期に発情ホルモンの作用によって急速に発達した子宮内膜の毛細血管組織が、排卵後の発情ホルモンの低下により一部破壊されることにより発生するといわれています。



排卵後の子宮(牛)→  
子宮外部からも確認できる出血の様子

☆人間の生理のしくみは・・・

人間の出血は子宮内膜がはがれて溶けて出てきたものです。子宮内膜は発達した卵胞から分泌される卵胞ホルモンによって徐々に内膜を厚くします。その後排卵が起き、黄体ホルモンが働き受精卵が着床しやすい状態となります。しかし、受精が成立しないと各ホルモンが激減し、子宮内膜が剥がれ落ちます。子宮内膜がはがれる際に出る酵素の働きによって、血液を固まらせる凝固因子が破壊され、経血として排出されます。



以上のことから牛には人間のような生理は無いと言えます。しかし、排卵や、黄体、卵胞形成の流れについては牛も人間も同じように繰り返されています。違うようで似ているところもあるんですね。

いろんな方から疑問をいただく度に勉強になり大変おもしろいです。ありがとうございます！一人で授精にお邪魔する機会も増えてきており、もっともっと勉強にも練習にも励み、精進して参りたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ致します。

柴田しおみ